

お薬に関するお悩みは
薬剤師に
ぜひご相談ください

飲み薬や血液製剤について

- 困っていること
 - 聞いてみたいこと
 - お話したいこと
- などはありませんか？

ACCでは複数名の薬剤師が
お薬についての
面談を行っています。



ACCの処方に限らず
他の診療科・他の病院のお薬や
市販薬・サプリメントなど

お薬に関することは
なんでも薬剤師にご相談ください。



効能・効果について

- これって何の治療薬？
- どうやって作用するのか知りたい
- 効果が実感できません
- ジェネリック医薬品って効果が違うの？

用法・用量について

- 自分で量を調節してもいい？
- どうして用量が増えたの？
- もっと飲みやすいお薬はないの？
- 定期輸注について聞きたい

こんなとき
薬剤師とお話を
してみませんか？

副作用について

- この症状、副作用かも
- 新しく出されたお薬の副作用が知りたい
- 長期間飲んでいるお薬、この先も安全なの？



飲み合わせについて

- 他院のお薬と一緒に飲んでも大丈夫？
- サプリメントをはじめてみたい
- どの市販薬を飲んだらいいの？

保管・管理について

- 血液製剤の保管方法が知りたい
- お薬に使用期限ってあるの？
- 余ったお薬や血液製剤、どうしたらいい？
- お薬が増えてきて管理が大変
- 輸注記録をつけてみようかな

生活などについて

- 生活習慣病といわれたんだけど・・・
- 最近よく眠れない
- お薬を飲むのが難しくなってきた
- お薬を飲み忘れたときどうしたらいい？

主な 面談内容

血液凝固因子製剤について

- 新薬のご紹介
- 治療薬の選択
- 溶解方法・保管方法
- 投与量の評価
- 輸注記録の活用
- インヒビターの治療
- 副作用 など



飲んでいるお薬について

- 飲み合わせの確認
- 食事の影響
- 服薬時間の見直し
- 飲み方の自己調節方法
- 抗HIV薬の血中濃度測定 など



ポリファーマシーについて

- 服薬しているお薬が適正か
どうかの整理 など

「ポリファーマシー」とは・・・

臨床的に必要とされている量以上に多くの薬剤が処方されている状態をいいます。

薬による有害事象は処方された薬の数に比例し、薬の数が6種類を超えると発生頻度が大きく増加するといわれています。

薬剤師外来の ご案内

2021年4月発行
国立国際医療研究センター病院
薬剤部